

事務事業名	給食交流会支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠
政策名	総合計画体系 0:6 1:4 3:3:1:3	誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉 部 保健福祉 課 福祉 係(グループ)
施策名		地域で支え合う福祉社会の実現	課長名	江口 久子
基本事業名		交流機会の拡充	予算科目	会計 款 項 目 事業 :1 :3 :1 :2 : 社会福祉協議会活動支援事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり		環境	次世代
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (開始年度 S64 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入	

事業概要 社協が町内に在住する独居高齢者を対象に、月に2回程度の昼食交流会を開催し、交流機会の確保、ひきこもりを予防することを目的に実施している事業に対して、町がその費用の一部を補助する。	全体計画	(単位:千円)
	事業費	特定財源 一般財源 その他
	人件費	事業費計 (A) 正規職員従事人数 人件費計 (B)
	投入量	総計
		総計
		総計

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 年度当初に社協が補助の申請を行ない、その内容を審査し補助の決定、交付などを行なう。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 補助金額 千円 イ ウ
17年度計画 町民企画活動補助金として継続実施。	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 独居高齢者数 人 イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 町内に在住する独居高齢者。	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 参加が楽しいと答える参加者 人 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 外出し、高齢者同士の交流をすることにより、参加者同士が刺激を受け、孤立感をなくしてもらう。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 交流会以外に積極的に外出する参加者 / 参加者 % イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 住み慣れた環境で、地域のなかで自立した在宅生活を継続することができる。	

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)
投入量	事業費	千円	437	394	509	822		
	一般財源	千円						
	その他	千円						
	事業費計 (A)	千円	437	394	509	822	0	0
	人件費	人	1	1	1	1		
	正規職員従事人数	年間			0.0016			
人件費計 (B)	千円	0	0	15	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	437	394	524	822	0	0	
活動指標	ア 千円	437	394	509	821			
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人							
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人							
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %							
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 町の施策の補完的な役割を担っていることから。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 特に変化なし。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由]	3 改革・改善方向の部へ 独居高齢者は、情報の収集や人との交流機会が少なくなることで孤立感を感じ、引きこもることも考えられる。このような外出機会を確保することにより、社会参加の意識付けや独居高齢者の異変をいち早く察知することもできる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由]	3 改革・改善方向の部へ 交流の少ない独居高齢者を一堂に会する事業は他にはない。これにより、自立や生きがい、楽しみ、社会参加に結びつくことできることから公的な関与は必要と考える。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由]	3 改革・改善方向の部へ 現行の町内全域を対象に実施した方法では適切と考える。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] <input type="checkbox"/> 余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部へ 現在、社協が町内全域対象に実施しているが、町内会などの自治組織単位で実施することにより距離的な参加しやすさ、より身近な地域での人的つながり(開催する側参加する側のつながり)の強化など細かい部分に目が届き充実するものとする。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] [問題解決策]	3 改革・改善方向の部へ 独居高齢者の集いの場が減少することにより、社会から取り残されるという危機感がある。問題解決としては、生活圏を中心とした小地域単位での実施を自主組織などにより実施する。
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない [理由]	ふれあい交流館機能を生かして、有料で食事などを提供し、いつでも集える場所の確保。 教育委員が実施する高齢者学級と類似(高齢者が一堂に集う)しているが、高齢者学級は自らが学習するという能動的な事業に対して、本事業はどちらかという受身的な事業であるため統廃合は難しい。
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した [具体的に] <input type="checkbox"/> 貢献していない [全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由]	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] [問題解決策]	3 改革・改善方向の部へ 事業費の削減により、利用者からの個人負担金額が増加し、参加者が減少または実施回数が減少する恐れあり。問題解決としては、自立した独居高齢者がいつでも集える場を作ることが考えられる。
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由]	3 改革・改善方向の部へ ほとんど所要時間の無駄はない。事業活動としては最低限の活動時間と考える。
公平性 評価	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部へ 現在、年間かかる食材料費総額の40%弱を参加者負担金で賄っているため、他のサービスと比較して適性と考える。

3 改革・改善方向の部(PLAN)																							
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input checked="" type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																						
全町単位ではなく、小地域単位での実施を拡充し、全町での開催は減らし併用することで小地域でのつながり強化も考えられる。	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持					低下	×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			×																			
	維持																						
	低下	×	×																				
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ 小地域での実施主体育成が鍵で、地域間の温度差は否めない。町が率先して意識啓蒙を推進し、実施者に対しては対価を支給する。																							